

区分
砂防

R5年度完成	事業名：急傾斜地崩壊対策事業 高戸谷(老神1)地区
--------	---------------------------

所属名	沼田土木事務所
-----	---------

### 1. 事業概要

【地区名】急傾斜地崩壊危険区  
高戸谷(老神1)地区  
【箇所】沼田市利根町高戸谷地内  
【概要】補強土壁工 L=289.5m



被害想定区域内には人家8戸のほか、郵便局やコンビニエンスストア、国道120号がありそれらを土砂災害から守るため整備したものである。

### 2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・国道120号や斜面直下のコンビニエンスストアは、年間を通じて多くの観光客に利用される。
- ・背後の斜面には、スギを代表樹種とする針葉樹林が形成されている。

### 3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何を見せるのか  
急傾斜地崩壊防止施設であるため、現場に人は近づけない
- ②どこから現場自体を見せるのか  
国道及びコンビニエンスストア等の利用者へ周辺環境と調和した空間を見せる
- ③目指すべき目標像  
現場の周辺には、名勝吹割の滝や老神温泉をはじめ、数多くの観光地があり、年間を通じて多くの観光客が訪れる。そして観光客の多くは、経路として日本ロマンチック街道である国道120号を利用する。また、当現場斜面下部のコンビニエンスストアは、連日多くの観光客に利用されている。以上より、当現場に設置する構造物は、道路利用者、コンビニエンスストア利用者、隣接する観光りんご園を訪れる観光客から目立たせないような工夫をする必要がある。

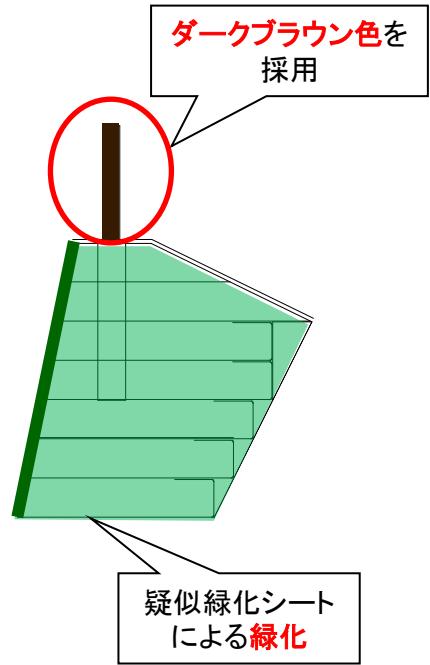
### 4. 専門家の助言の有無【ステップ4】 (有・無)

### 5. 配慮内容【ステップ3】 <完成(整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中(想定される内容)>

#### ○整備後写真



#### <周辺の自然環境と調和させるための工夫>



- ・構造物には、重力式擁壁ではなく補強土壁を採用し、さらに、補強土壁の前面および側面を疑似緑化シートを用いて緑化することによって、周囲の自然環境との調和を図る。
- ・防護柵は、一般的なシルバー色ではなく、ダークブラウン色のものを使用し、背後の森林との調和を図る。